

1 結果

＜集計の仕方＞ ※ A：十分達成→5点 B：おおむね達成→3点 C：やや不十分→1点 D：不十分→0点 とし、
合計点を全員が A（5点）をつけた場合の何%にあたるかを達成度とした（人数は、項目により異なる）。
（A×人数）＋（B×人数）＋（C×人数）＋（D×人数）＝合計点 合計点÷（5×合計人数）×100＝達成度

項目	評価の観点	元年 7月	元年 12月	2 年 7 月	成果(○) や 課題(◇) ・ 改善策(◆)
学校目標を具現 するための指導 体制の確立と実 践	①3つの重点目標の具現に向けて、職員が共通認識をもち、連学年、学年、学級で取り組んでいるか。	58	62	72	○体育や生活の授業を学年で行っているので、学年全体の学び合いが出来た。 ◇学年の連携という点では、まだやらなければいけないところがある。 ◆学年の連携を図ることはもとより、常に情報交換できるよう、職員会や学年会での場づくりをし、具体的に検討していく。
	②児童は、返事や発言の仕方、聴く態度が身についている	47	50	48	○話をしている人の方を見て聴くことが身についてきている。 ○話す、聞くのメリハリがついている子が多くて良いと思います。 ○コロナの影響もあり、だまって聞くことの徹底が出来つつある。 ○担任だけでなく、専科の授業の中でも育てていただいている。聴く力、聴き方については、ますます力を入れていきたい。 ◇聴く態度はよいが、返事や発言のしかたが身についていない子もいるので、継続して指導している。 ◇聴く態度については、指導の工夫が必要であると感じる。 ◇返事のしかたがまだ不十分である。 ◇個人差がある。声がけは継続している。 ◇発表者に対して一生懸命聞こうとする姿勢がまだまだなので、意識して身につくようにしていきたい。 ◆授業はもとより、学級活動、毎日の短学活等で、できるだけ発表の機会を設け、日々の発言の場を増やしていく。
	③児童は、進んで考え、自分なりに表現しようとしているか。	51	60	62	○素直な児童が多く、がんばっている。 ○休校明けから、集中して学習に取り組み、進んで考えている子が多い。 ○できる子、これからの子、それぞれだが、努力している。 ◆児童の意欲を生かせるような場を設けるとともに、全体の場で思いを伝える時間を確保していく。 ◆話す表現だけではなく、ふりかえりノートや毎日の日記等を活用し文章表記の表現も磨いていく。
	④児童は、自分から挨拶ができていますか。	46	46	50	○個人差はあるが、気持ちの良いあいさつが出来る子が多い ○個人差はあるが、自分から進んであいさつをしてくれる子が多い。 ○委員会ががんばっているため、良くなってきている。 ○全員があいさつしてから教室に入ってこられるようになった。 ○教室に入ってくるときの様子を見ているが、概ねできている。友だち同士でもあいさつを交わす姿が見られる。 ◇「自分から」というところが課題でしょうか…。 ◇あいさつは常に意識させているが、定着しない子もいる。 ◇あいさつできる子、こちらからすれば返してくれる子、言わない子の差が大きい。 ◇教室に入ってくる時にあいさつがないので、学級で取り組みたい。
	⑤児童の清掃は、低「自分のやることをしっかり」 中「自分から気づいて動く」 高「責任をもち、そうじ場所と自分の心を振り返る」はできているか。	57	65	80	○雑巾のかけ方が、とても丁寧な児童が増えた。（特に3・4年生） ○心みがき清掃をしっかり行えている。 ○自分たちで考えながら清掃が出来ている。 ○子ども達から教わるが多く、良くやっていると思う。 ○静かに掃除へ向かう姿を多く目にしました。 ○分担場所を、責任を持って掃除しようとする姿が見られます。 ○掃除のしかたが身につき、1年生でも黙って取り組める子が増えてきている。 ○よく気付き取り組めている。 ○子ども達は、友だちの振り返りカードを参考にして「自分もやってみよう」と努力している。「これで良い」ではなく、ますます充実していけるよう学年で高めていきたい。 ◇時間いっぱい静かに掃除に取り組めていると思うが、気付きの部分はもう少しだと思う。 ◆ひきつづき、振り返りを大切にし、三つの球について磨かれた場面を共有しながら、こころみがきについて考えていく。 ◆職員も研修を積み重ね、意識を共有して統一していく。
基礎的な学力の 定着と自己表現 の育成	⑥重点研究は、具体的な子どもの姿に もとづき、自己課題を意識した研究 になっているか。	68	62	67	○実践を持ち寄り、情報共有する中で学び合いが出来ている。 ○一公開はできなかったが、部会で普段の授業から課題を見つけ、これからそれに向かって研究を深めようとしている。 ◇学習進度と学習内容の関係で、考えさせられる時間を短縮していることもあり、研究とまではいかない事も多い。
	⑦子ども自身が今持っている力で考え、行動し、「自分の力でできた」と実感できる授業づくりをしているか。	56	57	55	◇学力差のある子への指導が難しい。上手い出来ない。 ◇コロナ予防への配慮をすると、まだ、やりたいことを充分に行えていない。 ◇やや教師が教えることが中心の授業が多い。密にならないよう気をつけながら、自分で考える時間を大切にした授業にしていきたい。 ◆出来たことを認め、成果を気づかせるようにしている。
	⑧学習問題を黒板に提示し、ねらいを	58	58	58	◇2時間の学習内容を1時間でやるなど、少し無理をして進めてしまった。

	明確にした「わかる授業」を行っているか。				◇「わかる」までたどり着かない児童への指導に十分な時間と場がない。 ◆見通しが持てるよう、ホワイトボードに一人ひとりの学習の流れを書いておき、それに従って行う。
	⑨一斉指導・グループ学習・個別指導、PCなどでメリハリのある授業を展開しているか。	62	64	53	○となりの学習室を活用しながら(蜜を避けつつ)、友だちと意見を交わす時間を、授業の中で取り入れるようにしている。 ◇どのタイミングで話し合いを入れるか、充分見極められていないので改善が必要。レディネスをしっかりとつかむ。 ◇子ども同士が話す活動は、控えめにしてしまうことがある。 ◇単元の進度を進めるため、じっくり考えさせ、話し合わせる時間をなかなか持てなかった。 ◇コロナ感染予防のためグループ学習はできるだけ控えている。個別指導は実施している。
	⑩学習内容を定着させるために、授業の終末で「見とどけ」をしっかりと行っているか	52	56	47	○算数の学習で、ふり返りの時間を確保できるように心がけた。 ○ノートの終末に、授業の感想を書いている。子ども達の理解の様子がわかり、良かった。 ○学年で同じ宿題を出している。学年会で検討し、宿題の進度に差が出ないように努めている。 ◇見とどけまでできずに終わることがある。改善していきたい。 ◇「見とどけ」でまとめを自分の言葉でできるようにしていきたい。
	⑪授業につながる宿題を工夫し、保護者と協力しながら学年に応じた指導をしているか。	60	64	67	○自主勉をよく頑張っている。 ○休校中の予習の課題が効果的だった。 ◆授業で学習したことの復習が出来るような課題を出すようにしていく。 ◆保護者の協力が得られると学力向上につながってくるので、丁寧に連携をしていく。
よりよい人間関係づくり	⑫子どもが楽しく登校できるように、一人ひとりに声掛けしたり、家庭と連携をとったりしながら、一人ひとりに居場所がある学級づくりを行っているか。	65	67	68	○一時間の中で、一人ひとりに声がけをするように心がけてきた。「わからない」と言いやすい雰囲気が出来つつある。 ○登校を渋る子がほとんど無く、楽しく学校に来てくれてよかった。 ◇心がけてはいるが、休校後、学校に気持ちが向かない児童がいるので、居場所がある、と言いきれない。 ◆毎日、保護者と連絡帳でのやりとりをし、よい面、変化などを伝え、情報を共有できるようにしている。 ◆ニーズの違う児童が、同じ時間に相談室を利用する場合の対応に難しさがある。話をしたい児童にとっては、他の子が居ることでの心の開放に時間がかかることもある。「こんな時、他の子はどうしているのか」と、他の子を通して自分を見つめる機会にしたりしている。
教育相談	⑬保護者や子どもからの相談に対して、適切な対応ができているか。	61	63	73	○必要に応じ支援会議を行っている。 ○行事の前に懇談を取り、行事への参加のしかたを確認してきた。保護者は、よく協力してくれている。 ○努力している。 ◆SC、発達相談、担任との面談や電話連絡など、様々な対応を考えていく。 ◆十分に話を聞き、一緒に考えることを大事にしている。自分で乗り越えられたと思えるサポートを心がけ、その後を気にかけるようにしている。
情報発信	⑭学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で伝えているか。	74	76	71	○クラスでは、毎日の連絡帳を通して情報交換を行っている。 ○「学校のメールがわかりやすい」と保護者の方が仰っていました。 ◇学級だよりで、もう少し学級(クラス)の様子や学習についてお家の人に伝えたい。 ◆学校便り「夢ヶ丘」の意義を再考し、内容、発行について検討したい。
安全安心対策	⑮学校は、下校指導や、安全点検等を行い、事故防止や安全指導ができているか。	70	75	71	○大きな事故なく一学期が終えられそうで良かった。 ◆日々の安全指導を徹底し、繰り返し安全への意識を高めていく。
非違行為防止	⑯非違行為防止に努めているか。	90	91	84	○もちろん心がけている。が、「大丈夫」と思わないようにしている。 ◆舞職員会ごとに短時間研修を設け、日常的に意識をしていく。 ◆児童に対する言葉、仕草から丁寧にすることを互いに意識して向き合うように努める。